令和２年度　第１回 評議員会 議事録

2021 年 4 月 24 日
事務局

【日　時】 2021 年 4 月 22 日(木) 19:00～21:00
【場　所】 Zoom 会議
【出席者】 以下 48 名（敬称略）

会　長：松原秀幸(高 19 回)　　副会長：大原 直(高 21 回)、今村昭文(高 24 回)、池田正明(高 28 回)
相談役：佐々木康夫(高 15 回)　特別顧問：下井善廣(高 13 回)
評議員：古畑恒雄(高 3 回)、村澤彰彦(高 15 回)、興津利夫(高 16 回)、原 二郎(高 16 回)、中島光夫(高 21 回)、本間義孝(高 21 回)、長沼 寛(高 21 回)、斎藤博人(高 22 回)、寺沢春彦(高 23 回)、太田秀哉(高 25 回)、山口路代(高 30 回)、渡部清司(高 31 回)、西岡美由紀(高 32 回)、内山金実(高 33 回)、柳瀬宏司(高 34 回)、大井紀子(高 35 回)、前田丈典(高 35 回)、大島みどり(高 36 回)、柳澤昭浩(高 36 回)、川村幸子(高 37 回)、丸山百合(高 37 回)、加納由美(高 38 回)、清水勇次(高 38 回)、栗生賢一郎(高 39 回)、中島英樹(高 40 回)、吉川 徹(高 42 回)、上沼研也(高 44 回)、竹岡妙子(高 44 回)、野中弘子(高 44 回)、北澤直樹(高 45 回)、村澤大介(高 45 回)、
幹　事：代田秀雄(高 33 回)、榊原雅直(高 31 回)、松村尚哉(高 32 回)、三ツ橋史緒子(22 回)、下平紀代子(高 32 回)、篠田裕二(高 26 回)、大澤 厚(高 27 回)、新井冨生(高 29 回)、小澤純子(高 43 回)、
部会長：小平信夫(高 22 回)、吉澤広和(高 32 回)、

会長より新体制発足後２年間の活動について報告され、今後の評議員会の活動について審議した。

１．会長挨拶（松原会長）

(1)『郷土愛と母校愛を醸成し、同窓生をつなぐ』を活動方針とし、これまでの活動を継続・維持しつつ活性化に向け、以下 3 点に取り組んでいる。
①長期的な活動を見据えた部会体制強化に向け、**広報部会、組織部会、名簿管理部会を新設**した。
②同窓会活動に多くの支援者や理解者を得て活発化させるために、幹事会の開催を年 4 回に変更している。又今年度より**評議員会の開催も年２回にして組織部会との連携を図って戴きたい。**
③会員間の情報共有を図るために、インターネットを活用した広報部会からの情報発信や HP の更なる活用に取り組んでいる。

(2) 活動組織については、会議体として総会、評議員会、幹事会があり、役員として会長、副会長、相談役、顧問、幹事、評議員があり、この役員が評議員会のメンバーを構成します。組織活動として６部会委員会と事務局があり、文化支援活動として３相談室と５たかまつ会があります。

２．評議員および役員出席者紹介（代田事務局長）

・評議員５８名中出席者３２名、他役員２３名中出席者１７名を紹介する。

３．評議員会の役割（代田事務局長）

(1) 会議体や部会等組織の役割について在京同窓会全体として明確化に取り組んでいる。
・在京同窓会会則の改訂で全体を見直し、評議員会及び評議員に関しては新たに内規を制定する。
・現在作成中の原案を 9 月の第 4 回幹事会で纏め、これを第 2 回評議員会で審議し、11 月開催の定時総会で議決する。

(2) 評議員会及び評議員に関する内規は、以下の内容を織り込み作成している。
・評議員会の主な役割は、①幹事会の活動をモニタリング、②組織部会と連携した在京同窓会活

動の活性化の 2 点で、事業報告や事業計画、会計報告や予算案などについて審議などを行う。会長が議長として、年 2 回招集する。

・評議員の役割は、①評議員会に出席し審議に参加、②組織部会と連携して会員拡大、維持会費の納入率向上、定時総会やたかまつ会への参加呼び掛けとする。

４．組織部会からの提案（松村組織部会長）

（1）組織部会と連携した在京同窓会活動の活性化に向けた評議員の役割は以下の 3 点の取組みです。

①在京同窓会会員を増やしてください。そのためには同窓会開催通知や『稲穂』が届いていない方や住所変更となった方に名簿部会への登録、広報部会のメーリングリストへの登録を促してください。現在のメーリングリスト登録者は千数百名です。

②在京同窓会定時総会への出席者やたかまつ会参加者を増やしてください。評議員の方々の定時総会出席率は５６％です。同期を誘い合って参加願います。

③在京同窓会維持会費納入を促してください。現在の納入率は１５.６％です。同期の皆様に働きかけてください。

（2）評議員の方々には以下をお願いします。

・現在の評議員会の出席率は 57%ですが、今後年 2 回開催されますので出席願います。
・評議員のいない学年に知り合いがいましたらご紹介願います。活動の活性化につながります。
・同期の皆様からのご意見ご要望を取り纏めてご報告願います。
・在京同窓会からの情報を同期の皆様に発信願います。

≪役員からのご意見≫

・評議員会へは同期どうし声を掛け合って出席願いたい。
・飯田在住の同期との交流を図ることで情報入手でき、再会につながると思います。
・評議委員が本人の代理として名簿部会に登録できれば、会員増に効果があるのではないか。
⇒代田事務局長：個人情報なので慎重に取組みたい。個人情報は今年のテーマとしています。

５．評議員からの感想意見（自己紹介を兼ねる）

（1）主な感想

①評議員としての活動について

・同窓会から発信される情報が有難い。評議員として協力していきたい。
・同期の仲間に声をかけていきたい。
・文化活動で輪を広げていきたい。
・同期でオンライン同期会を行っており、会費の納入率アップにつなげていきたい。
・先輩からの手紙を戴いて在京同窓会活動に勧誘された。このような地道な活動が必要と感じる。

②規約の見直しについて

・規約の見直し、新規制定する動きは、同窓会活動として必要なことだと思う。
・評議員の役割が明文化されると意識も変わってくる。評議員として動きやすくなった。
・明文化の次は具体的に何ができるか考えていきたい。

（2）ご意見

①同窓会活動について

・同窓会維持会費の納入率が低いのは、同窓会に魅力がないのではないか。もっと魅力的のある場にする必要がある。
・仲間を誘う際は強制できないので、魅力のある会にむけて活動していく。

②組織部会、評議員について

・組織部会は各回との繋がりが大切であり、組織部会として各回の集まる場に参加したらどうであろうか。

・これまで評議員として同期の連絡窓口を意識してきたが、これも役割の一つではないか。

⇒代田事務局長：組織部会との連携の中に、連絡窓口としての役割（活動）が含まれるとの考えから内規（案）になっているが、分かりにくいようであれば表現を見直していく。

・同窓会に係わり評議員になってから会費を納入し始めた。評議員に任期を設け、持ち回りとしたらどうか。

③会則、内規について

・気付いた点があり、今後一緒に検討いただきたい。

６．今後の日程

以下を確認した。

6/10 木　第 3 回幹事会
9/ 9 木　第 4 回幹事会
9/23 木　第 2 回評議員会
11/13 土　定期総会

７．その他

・相談役より、一人ひとりが考えてやるべきことを理解でき、有意義な評議員会であったとの感想を戴いた。

・顧問より、ご苦労様でしたとのお言葉を戴いた。

（参加者全員を撮影できませんでした。）

【参考資料】　※事前に配布済み

・令和 2 年度 第 1 回評議員会　議事次第

・評議員の皆様へ

・評議員会および評議員に関する内規について

以上

（文責：篠田、大澤）